

新たに地域おこし協力隊員が1名加わりました

平成29年9月1日から、新たに「那須町地域おこし協力隊」として1名の女性隊員が加わることになりました

新任協力隊員の紹介

ほそだ みお
細田 美緒

出身地 山口県

私は、9月から新たに地域おこし協力隊として任命された細田美緒です。主人が那須町に住んでいたことから、以前から頻繁に那須を訪れていましたが、協力隊着任を機に那須町に定住することになりました。私もこうして那須町で暮らすことができるようになったことをとても嬉しく思っております。

私が那須町に一番魅力を感じていることは、牛乳と乳製品がとても美味しいということです。以前、主人が住んでいた家の近所の酪農家さんから分けていただいた牛乳は、今まで飲んだどの牛乳よりも美味しいものでした。

那須町に来るまでは東京都内でパン職人をしていたので、いつかこの地のおいしい牛乳や乳製品を生かしたパン屋さんをひらきたいという夢を持っています。

パンづくりを通して食材に対する関心が高まりました。狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を食材として利用し、食材に感謝する事業を地域おこし協力隊の活動にしていきたいと考えています。現在

は、このジビエ事業の実現に向け、狩猟免許の取得に励んでおり、今後は、様々な方法を模索していき、地域おこし協力隊としてのどのような活動が有効なのか、町の方々の話を聞きながらじっくり考えていきたいと思っています。

那須の豊かな自然と美しい酪農風景を楽しみながら、農業全体に関わる様々な活動をしていく予定です。どこかでお会いしたら、どんなことでも良いので、ぜひお話を聞かせてください。

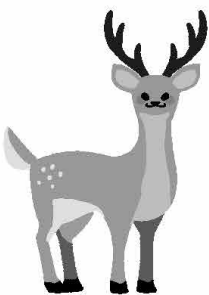
2年半と短い任期になりますが、どうぞよろしく願います。



▼問合せ

ふるさと定住課定住促進係

☎ 76955



地域おこし協力隊の活動レポート Vol.22

中村 舞子

早いもので、那須に来て3回目の秋を迎えました。今年の夏は数多くのイベントが開催され、私もたくさんのイベントに参加させていただきました。たくさんイベントに参加し、さらに刺激を受けています。

その中でも東京国際フォーラムで開催された「ものづくり匠の技の祭典2017」というイベントでは、国際フォーラムという大きな会場で行われたイベントであったため、たくさんの方が参加し、多くの方に篠を知って、触れてもらえる良い機会になったように思います。

イベント会場では、体験・実演・販売を行いました。イベントに参加いただいた方が一番驚いていたことは、材料の作り方でした。一本一本、篠を口と指で力を調整しながら均一に裂く作業を実演すると、多くの方からの注目が集まり、篠についての質問を数多く受けました。参加者は何に興味を持つのか、どのようにすれば通

りすがりの方の目を引くことができるか、どのように使い方を説明すると分かりやすいのかなど、イベントに参加することで多くのことが学べ、成長するきっかけになりました。

また、新しい課題や篠についてもっと勉強したい事も明確になったように思います。他の地域の職人さんたちにもお会いすることができ、後継者不足の問題や新しい商品をどのように生み出しているかなどの情報交換をできる機会にもなりました。

篠工芸をはじめから、ものづくりの職人さんに出会う機会が増えました。ジャンルや何を作っているかに関係なく、一つのことを極めた人たちは本当に恰好よく、たくさん刺激を受けます。篠だけではなく、他のものにも触れる事で新しいアイデアや新しい素材、新しい仲間などもたくさんできました。

全国的に日本のものづくりを残していこうとする動きも目立つようになり、私も良いものを丁寧に作る方たちの糧になっていければと思います。

